

論文	公開日	研究手法/ 論文のスタイル	論文のキーワード	ACPの課題	対応策	研究・議論が 対象としている国	ACP関連の 法制度
Block BL, Smith AK, Sudore RL. During COVID-19, Outpatient Advance Care Planning Is Imperative: We Need All Hands on Deck. J Am Geriatr Soc. 2020;68(7):1395-7.	オンライン公開日： 2020年5月14日	レター	(追記) COVID-19、ACP、事前指示、法的要件、社会的弱者、代理意思決定者、患者教育	・病院内における感染拡大のリスクを減らすため来訪者制限が行われ、ACPに切迫性をもたらす ・このような状況において、ACPの一部である事前指示は証人や公証人の必要性などの法的要件が州ごとに異なり、社会的弱者にとってACPの妨げとなっている	・外来患者へのACP参加を促す ・代理意思決定者を選択し、治療に関する希望を医療録に文書として記録する ・オンラインや音声システムを使った患者教育の実施 ・社会距離拡大戦略に矛盾する事前指示作成要件を一時的に緩和して、証人や公証人要件を免除する、また、患者による口語の指示や、電話・ビデオ会話を介した医師らによるPOLST作成を許容する	米国	・州法による ・全州がリビングウィル、もしくは、持続的代理権代理人を法制化 ・POLSTを法制化している州も
Carr D, Boerner K, Moorman S. Bereavement in the Time of Coronavirus: Unprecedented Challenges Demand Novel Interventions. J Aging Soc Policy. 2020;32(4-5):425-31.	オンライン公開日： 2020年5月18日	レビュー	死別、対処法、死や死にゆくこと、COVID-19、メンタルヘルス、ストレス	・COVID-19によって備えることができないまま患者の選好と一致しないケアを提供されることや、社会的孤立といったストレスによって遺族の喪失の痛みが増幅する	・医療・緩和ケア団体のACPや終末期の話し合いを支援する書面の活用 ・電話カウンセリング、遠隔医療の提供	米国	
DeFilippis EM, Ranard LS, Berg DD. Cardiopulmonary Resuscitation During the COVID-19 Pandemic: A View From Trainees on the Front Line. Circulation. 2020;141(23):1833-5.	オンライン公開日： 2020年4月9日	オピニオン	ACP、コロナウイルス、心肺蘇生、個人防護具	・多くの病院は来訪者制限を実施し、対面での話し合いができない ・CPRを行う際に医師の安全確保に課題がある	・電話やビデオカンファレンスで家族との話し合いを行う ・CPRを望まない患者をACPによって特定する ・プライマリケア医が話し合いを主導する ・患者や家族は、オンラインリソースを使って話し合い、POLST書面作成の助言を得る	米国	
Gupta A, Bahl B, Rabadi S, Mebane A, 3rd, Levey R, Vasudevan V. Value of Advance Care Directives for Patients With Serious Illness in the Era of COVID Pandemic: A Review of Challenges and Solutions. The American journal of hospice & palliative care. 2020;1049909120963698.	オンライン公開日： 2020年10月6日	レビュー	事前指示、ACP、終末期医療、COVID-19、SARS-CoV-2、文書化、重症疾患	・ケアに関する事前指示が脆弱な集団において不公正に用いられている	・人種的マイノリティ患者の認識を高めるための医療従事者向けプログラムの実施	米国	
Hughes MC, Vernon E. Hospice Response to COVID-19: Promoting Sustainable Inclusion Strategies for Racial and Ethnic Minorities. J Gerontol Soc Work. 2020:1-5.	オンライン公開日： 2020年10月11日	レター	ホスピス、人種・人種格差、ACP、社会的排除/包摂	・COVID-19パンデミックにおいてACPの重要性が高まる中、人種的・民族的マイノリティ集団が集团的な終末期医療を受け質の高いホスピスケアを受けていない傾向が見られる ・背景には、ACPの一つの書面である事前指示に関する教育欠如がある	・マイノリティコミュニティの宗教リーダーを通して、ホスピスが終末期の話し合いの重要性に関するガイダンスを提供する	米国	

Janwadkar AS, Bibler TM. Ethical Challenges in Advance Care Planning During the COVID-19 Pandemic. Am J Bioeth. 2020;20(7):202-4.	オンライン公開日：2020年7月27日	コメンタリー	(追記) ACP、事前指示、若年患者、緩和ケア、医療代理人	事前指示の作成に関して、 ・生命維持治療に関する患者の選好について、書面を作成したらすぐに相談しなければならない ・話し合いをする患者の数が大量に発生した ・併存疾患を有する若い患者がケアの目標に関する話し合いをする準備ができていない ・COVID-19への対応で手一杯でACPの話し合いをする時間や質が制限される ・病院への来訪制限によって患者・家族らとの話し合いに制限 ・感染防止策によって医療従事者と患者の意思疎通が難しい	・緩和ケア専門職が早期にACPの話し合いに関わる ・医療代理人を指名しておく ・POLSTを作成する ・家庭医が遠隔医療によって患者の自宅でACPの話し合いを行う ・法的書面に必要な署名や第三者の立ち会いを電子的に行えるようにする	米国
Lakin JR, Brannen EN, Tulsy JA, Paasche-Orlow MK, Lindvall C, Chang Y, et al. Advance Care Planning: Promoting Effective and Aligned Communication in the Elderly (ACP-PEACE): the study protocol for a pragmatic stepped-wedge trial of older patients with cancer. BMJ Open. 2020;10(7):e040999.	オンライン公開日：2020年7月14日	介入研究(クラスターランダム化試験)	(追記) ACP、患者の意思決定支援	・書面によるACPは、十分な情報提供がなければ効果がない ・病気の後期にACPが行われる場合、患者が明確に理解できない場合がある	・ACP-PEACEという介入プログラム(医療者教育と患者の意思決定支援)を実施	米国
Langmaid L, Ratner L, Huysman C, Curran S, Uluer A. Supporting the Medically Fragile: Individualized Approach to Empowering Young Adults With Chronic Disease During the COVID-19 Pandemic. J Adolesc Health. 2020;67(3):453-5.	2020年7月16日	観察研究	若年成人、慢性疾患、経路誘導(system navigation)、ケアの断片化、脆弱性、COVID-19、パンデミック、エンパワメント、心理社会的複雑さ、緊急時への備え	・医学的・心理社会的複雑さを有する若年患者のケア・コーディネーションが困難	・電話やオンラインビデオシステムを使った仮想訪問 ・医療代理人について話し合う	米国
Lin CT, Bookman K, Sieja A, Markley K, Altman RL, Sippel J, et al. Clinical Informatics Accelerates Health System Adaptation to the COVID-19 Pandemic: Examples from Colorado. J Am Med Inform Assoc. 2020.	オンライン公開日：2020年7月20日	ケースレポート	電子医療録、COVID-19パンデミック、クリニカルパスウェイ、患者が装着できるもの(機器)、遠隔医療、仮想医療、ACP、緊急時の標準的ケア、予測分析論、臨床決定支援、オンボードトレーニング	・最もコミュニケーションが必要な時に、患者と家族が対面できない	・タブレットやビデオカンファレンスの活用 ・電子医療録にあるメッセージシステムを使って関係者がコミュニケーションを取れるようにする	米国
Prost SG, Novisky MA, Rorvig L, Zaller N, Williams B. Prisons and COVID-19: A Desperate Call for Gerontological Expertise in Correctional Healthcare. Gerontologist. 2020.	オンライン公開日：2020年7月24日	(レビュー)	COVID-19、刑務所の医療(correctional health)、刑務所	・COVID-19パンデミックによって取られたロックダウンによって受刑者の日常生活動作が減少し認知機能低下を招く中、終末期の話し合いが適切に行われていない ・背景には、刑務所の医療従事者が受刑者とどのようにACPの話し合いを始めたらいいか十分な知識や技術を持ち合わせていないことがある	・老年専門医が刑務所の医療従事者に教育訓練を行う	米国
Smith GM, Hui FA, Bleymaier CR, Bragg AR, Harman SM. What If I Get Seriously Ill? A Virtual Workshop for Advance Care Planning During COVID-19. J Pain Symptom Manage. 2020;60(5):e21-e4.	2020年8月21日	介入研究	COVID-19、ウェビナー、ACP、仮想ワークショップ	・社会距離拡大戦略、在宅命令、来訪者制限が、ACPの話し合いを促すことへの障壁となった ・オンライン教育を実施しても、参加者に人種的(白人)・性別(女性)偏りがあった	・オンライン仮想ワークショップによる患者教育	米国

Swinford E, Galucia N, Morrow-Howell N. Applying Gerontological Social Work Perspectives to the Coronavirus Pandemic. J Gerontol Soc Work. 2020;1-11.	オンライン公開日：2020年5月18日	コメンタリー	COVID-19、蓄積した不利益、エイジズム、強度に基づいた見解(strength-based perspective)		・事前指示書などの法的書面の公証規定を緩める ・ソーシャル・ワークによってあらかじめ、病気や死について考え、それらの選好についてコミュニケーションすること、法的書面の重要性を強調できる	米国	
Wei E, Segall J, Villanueva Y, Dang LB, Gasca VI, Gonzalez MP, et al. Coping With Trauma, Celebrating Life: Reinventing Patient And Staff Support During The COVID-19 Pandemic. Health Aff (Millwood). 2020;39(9):1597-600.	オンライン公開日：2020年7月16日	コメンタリー(観察研究?)	(追記) 終末期の意思決定、緩和ケア、老年医、ACP、アウトリーチ、COVID-19	・患者の家族が終末期の意思決定を患者から離れたところで行われなければならない ・患者の家族やスタッフが心理的・精神的トラウマを負う	・緩和ケアの訓練を受けた外来担当医、老年医を含む専門家で構成される拡大緩和ケアチームが、家族に、ACPや終末期の意思決定に関する仮想コンサルテーションを実施 ・医療スタッフ支援(一時宿泊施設、託児、面談、相談ホットライン、一時休息室) ・患者が家族と連絡できるようにアウトリーチの取り組みを実践(遠隔緩和ケア→リモートコンサルテーション)	米国	
Hannon B, Mak E, Al Awamer A, Banerjee S, Blake C, Kaya E, et al. Palliative care provision at a tertiary cancer center during a global pandemic. Support Care Cancer. 2020.	オンライン公開日：2020年9月15日	観察研究	COVID-19、緩和ケア、パンデミック、がん、支持療法	・外来緩和ケアクリニックでは対面訪問を減らす必要性に迫られた ・包括的な多職種コンサルテーションを実施できない	・遠隔医療ネットワークを通して書面あるいは口語の同意が行われた ・電話による訪問に変更	カナダ	・州法による ・州によって、代理決定者の指名、あるいは、医療に関する事前指示、もしくはその両方を規定 ・全国的なACPプログラムの枠組みあり
Gordon AL, Goodman C, Achterberg W, Barker RO, Burns E, Hanratty B, et al. Commentary: COVID in care homes- challenges and dilemmas in healthcare delivery. Age Ageing. 2020;49(5):701-5.	オンライン公開日：2020年5月13日	コメンタリー	ナーシングホーム、COVID-19、パンデミック、高齢者	・社会距離拡大戦略によって入居者への面会制限が行われ、ACPの話し合いに影響が及んでいる ・ACPはケアホームのCOVID-19対応として重要だが、高度な医療支援とリーダーシップが必要 ・ACPに対する無差別的アプローチへの批判※		英国 (アイルランド) (オランダ)	英国(イングランドおよびウェールズ) ・2005年意思能力法で治療を拒否する事前の意思決定、永続的代理権を規定 ・終末期医療国家戦略でACPプログラムを推奨
Gareth I. Covid-19: Don't apply advance care plans to groups of people, doctors' leaders warn. BMJ. 2020; 369:m1419.		News	(追記) COVID-19、DNAR	※GPが重症疾患を有する患者に対し、COVID-19に感染して重症化しても救急サービスを要請しないようDNAR書面を作成するよう助言した		英国	
Kotze C, Roos JL. End-of-life decision-making capacity in an elderly patient with schizophrenia and terminal cancer. S Afr Fam Pract (2004). 2020;62(1):e1-e4.	2020年8月3日	レター	終末期医療、意思決定能力、高齢者、重度の精神疾患、統合失調症	・平時における精神疾患へのスティグマや意思決定能力のアセスメントの難しさ、医師のACPに関する知識・経験不足等によって、公衆衛生上の危機においても重度の精神疾患を有する患者が質の高い終末期医療を受けられていない		南アフリカ	・事前指示の法制化が議会で検討された(2019)。治療拒否はできるが、法律でLWや事前指示が保証されているわけではない https://dignitysouthafrica.org/legalisation-of-living-wills https://www.medicalprotection.org/southafrica/casebook-and-resources/factsheets/factsheets/sa-living-wills-advance-directives https://www.moneyweb.co.za/financial-advisor-views/planning-for-when-you-cannot-speak-for-yourself/

Heyland DK. Advance Care Planning (ACP) vs. Advance Serious Illness Preparations and Planning (ASIPP). Healthcare (Basel). 2020;8(3).	オンライン公開日：7月18日	コメンタリー	終末期医療、重症疾患、ACP、コミュニケーションと意思決定、救命救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期がんなどある程度プロセスがわかっている状況で行う死の計画(従来のACP)は、COVID-19による肺炎といったよくわからない結果をもたらす重症疾患のための計画とは異なる ・帰結がよくわからない重症疾患に関して意思決定しなければならない場合には、ACPや事前指示、リビングウィルといった従来の枠組み、書面は役に立たない ・医療代理人に重きが置かれていない ・話し合いの中でその人の価値観を引き出すことは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・重症疾患に特化した事前の準備計画プログラム ・患者と医師の協働によるshared decision-makingを行う ・患者の価値観と治療の選好を結びつけるガイドを行う 	N/A
Raftery C, Lewis E, Cardona M. The Crucial Role of Nurses and Social Workers in Initiating End-of-Life Communication to Reduce Overtreatment in the Midst of the COVID-19 Pandemic. Gerontology. 2020;66(5):427-30.	オンライン公開日：2020年6月9日	Debate	終末期医療、ACP、看護師、コメディカル、COVID-19	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生上の危機において医療提供体制が逼迫し、将来の医療について計画する機会が排除される中、患者の目標や選好と一致するマネジメントは実現不可能 ・緊急的な意思決定が患者にプレッシャーを課す ・従来、ACPの話し合いを主導していた医師は疲弊し、感染して燃え尽き症候群になったり隔離されたりしている ・特定の個人、特に医師に話し合いの負担がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師あるいはコメディカル(SWなど)主導のACPの話し合い ・看護師やコメディカルに対する教育訓練の実施 	N/A
Wallace CL, Wladkowski SP, Gibson A, White P. Grief During the COVID-19 Pandemic: Considerations for Palliative Care Providers. J Pain Symptom Manage. 2020;60(1):e70-e6.	2020年4月13日	レビュー	悲嘆、COVID-19、終末期、喪失、コミュニケーション、セルフケア、ACP	<ul style="list-style-type: none"> ・社会距離拡大戦略や医療機関への来訪制限によって、悲嘆が複雑化した ・医師が困難で不確かな話し合いに直接アプローチする準備をしなければならない ・ケアの目標について患者と緊急に話し合わなければならない 	<ul style="list-style-type: none"> ・余命数週間から数日の患者のACPについては、希望するスピリチュアル実践や葬儀についての話し合いを含める 	N/A

総合学術文献データベースEBSCOを利用して論文を抽出した

なお、論文のキーワードは、基本的には論文が示しているものを明記した。キーワードの提示がない論文については、論文を精読したうえで検討し追記したものであり、本一覧表では(追記)マークを付けた

COVID-19パンデミック下におけるACPの効果としては、患者の選好と一致しない治療を避ける、家族の悲嘆を減じる、資源競合や医療費の減少などが提示されていた